

静岡県立藤枝東高等学校生活館建設の基本構想

この生活館は、80名程度の宿泊設備を備え、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等の宿泊研修に活用し、教職員・後援会員・同窓会員及び地域諸団体の研修の場としても利用するなど更に充実を図る。

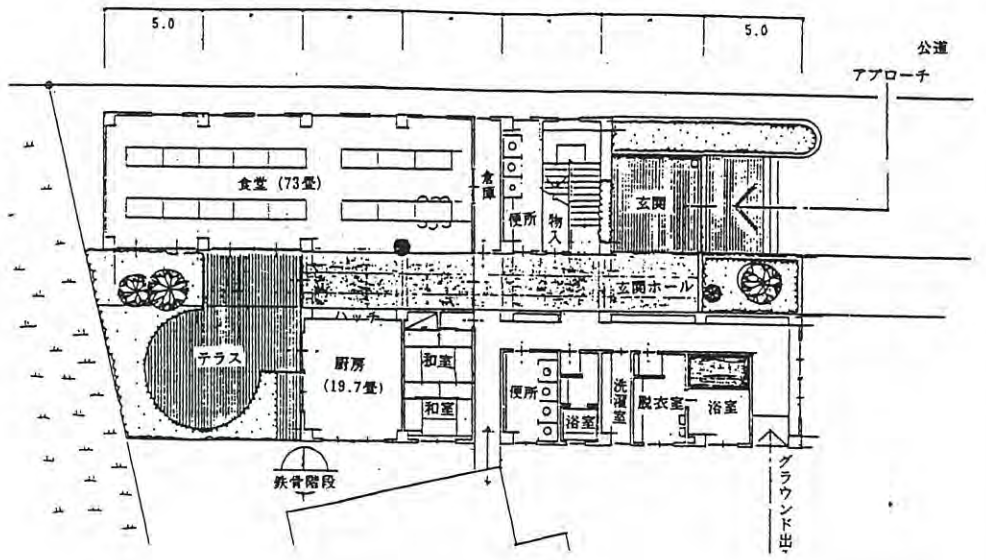
1. 建物の名称
静岡県立藤枝東高等学校生活館。『至誠館(仮称)』
2. 建設の推進
静岡県立藤枝東高等学校生活館建設準備委員会が主体となり学校後援会・同窓会が支援する。
3. 改築計画
 - (1) 建設予定地 藤枝市天王町150-7(後援会所有地)
 - (2) 建設内容 鉄筋コンクリート2階建
 建面積 336,912㎡
 延面積 733,824㎡
 1F: 食堂兼研究室、厨房、プラスバンド練習室、指導員室
 2F: 宿泊兼研修室
 - (3) 建設の時期
平成4年10月頃を目途とする。
4. 事業費
約 180,000千円
 内訳 設計・管理費 5,000千円
 生活館建設費 164,000千円
 内部設備費・その他 7,000千円
 建設準備委員会庶務費 1,000千円
 環境整備・会館維持予備費 3,000千円
5. 資金計画(目標額)
 同窓会 100,000千円
 学校後援会 60,000千円
 篤志者協力資金・その他 20,000千円

参考資料

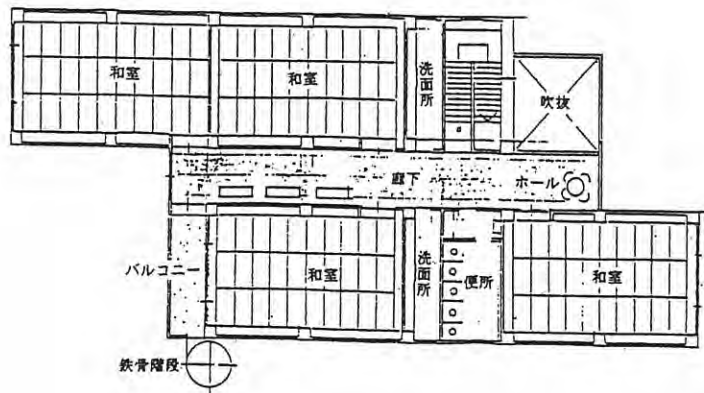
1. 志太・榛原地区高等学校の生活館等設置状況

	構造	建床面積	収容人数	建設費	摘要
藤枝西	鉄筋3階	294.69㎡	30人	千円 36,000	完成年月 53.10
榛原	鉄筋3階	1,038.00	100	150,000	55.7
相良	鉄筋3階	973.66	100	145,650	58.4
焼津中央	鉄筋3階	1,096.39	100	160,000	59.12
島田	鉄筋3階	798.34	80	140,000	元.3
藤枝北	鉄筋3階	約800.00 約900.00	80 90		計画中 平成4年度

藤枝東高等学校生活館平面図(案)



1階平面図



2階平面図

同期会

七十才になると友が恋しくなる 第九回生四十回目の同期会

昭和二十年の暮に最初の同期会を開いてから、今年で四十回目を迎えた。一昨年の同期会は藤枝で行い、宮崎君達が卒業五十年を記念して物故者の法要を営み、先輩伊村隆恵老師の読経を聞きながら、かつて熊谷孝先生が故人一人ひとりの面影を述べられた慰霊の辞を想い出し、遺族の方々も過ごした。昨年は静岡地区の当番で、熊谷、吉井君達の骨折りで伊豆長岡温泉の静雲荘で一泊。出席者二十五名がそれぞれ四年生の修学旅行当時に回顧して、葦山の反射炉から頼朝ゆかりの蛭ヶ小島を巡り、夜遅くまでの宴を楽しんだ。本年は去る五月二十八日焼津ホテルで「古希の会」として開催した。担任恩師、熊谷、天野両先生は故人となられ、同期生も半数近く過ぎ、七十才になると友が恋しくなる。今回は大石正君の尽力で学窓当時より現在までの記録を綴った二二七ページの文集「古希」が完成し、母校恩師に贈り、我々の良き記念誌となった。「現在の国旗掲揚塔も五十余年前、卒業記念として建

てたものだが、あの旗幟も西方の鈴木君の家の山から担いで来たものだ。」等々、歓談の尽きない同期会であった。千南原に育った同胞諸氏と共に県下に燦爛と輝く藤枝東高校であれかしと心から祈りつつ。(焼津 飯塚元次)

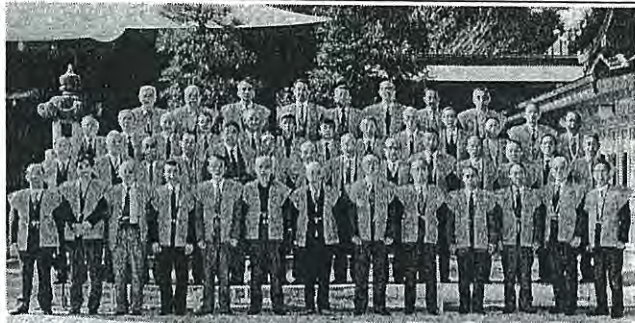


還暦を祝う

一九・二〇回同期会

私共同級生は菊香の十一月四日、島田市大井神社にて還暦を祝い、拝殿にて修葺して後、宮美殿にて同期会を催しました。全員赤のチャンチャンを羽織り、記念写真を撮りましたのでご覧ください。

私共は入学時は一緒でしたが、卒業の方は戦時特例で四年卒(S二一)一九回と五年卒(S二二)二〇回に別れた特異な同級生です。そのため、同級会といっても二期分の回数を頭につけることになってしまいました。当日は恩師藤井誠先生においでを願ひ、全員で校歌、応援歌の合唱を始め、当時の学校職員、同級生の写真をスライド作成して放映し盛会でした。今後とも同窓会活動につきましても力ながら支援させていただきます。(幹事 植田豊次)



幹事さん達者でな

三二回同期会

毎年春に同級会の知らせが来るようになって三年が経った。昭和六十二年の五月、二十年ぶりに焼津グランドホテルに集まったのが恩師の益田忠郎先生と三十三日Rの級友二十五人であった。それぞれの道で活躍している友は皆逞しく精悍な顔をしており、自分の未熟さを感じた事が印象に残っている。酒を飲み空白の二十年を大声で語り、笑い合えたのは何にも換えがたく忠郎先生の挨拶は瞬く間に三十年前のあの朽ちた校舎の三十三日Rの教室に我々を連れ戻してくれた。部屋に戻ってから話の夜更けるまで続き、翌朝の解散となって第一回が終わり。二回目、三回目も万年幹事となった金子、八木、河原崎君が骨を折ってくれた。そのおかげで出席率も大変良い。

昨年の夏計報が届いた。丈夫そうだった堤坂君が亡くなったのだ。国分寺で葬儀があるとのこと。益田先生を始め七名が参列した。精進落としの時、彼が去年は元気に顔を出してくれたこと等の思い出話をし、亡き友を偲んだ。今年も蓮華寺池周辺の道路も整備され、花づくめの蓮華寺池公園が益々賑わっている。今度の会の後、皆で学校やこの思い出多い池に来てみようと思う。(原木康巳)

